

学校は、地域の大切な財産・宝物です。

平成24年度…すべての教育活動の原点は、を子ども基準で・・・

明日、登校することや、出勤することを思い、わくわくする！そんな学校を目指して。

今年もまた夏を迎えます。多くの方々のお支えのもとに成り立っている素晴らし毎日の中、子どもたちは、日々健やかに成長を続けています。

湯来西小学校は、学校のすぐ裏が山で窓から大木の林に手が届くのです。ときどき目の前を猿の親子が走る姿は、それはそれは微笑ましいものです。学校の正面は、水内川と新しい道路を挟んで、またすぐに山です。屋上に上がると校歌にも出てくる広島市最高峰の大峯山を望めます。まさに日々森林浴です。

目の前の水内川は、本当に美しい川でたゆることなく今日も流れています。大雨の日の濁流は、大きな岩を流し、岩は岩とぶつかり轟音は怖いほどです。しかし、反対に何日も何日も晴れの日が続いても、忘れることも愚痴をこぼすこともなく豊かに流れ続けています。山で育んだ栄養いっぱい豊かなこの水は、太田川となり、可部や祇園を通り、放水路や本川になり、原爆ドームの横を流れたり宇品まで流れたりしながら似島あたりに達し、豊かな海の一助になり、魚たちの幸福の為に生き続けていることでしょう。

山の緑も本当に一枚一枚の葉の緑色が微妙に違います。それは、急ぎ足の人や、ご多忙の人には見えにくいかもしれません。私は、「百万色のみどりの湯来の溪谷」と造語をつけました。本当に美しい緑の山々です。

子どもたちが、水内川漁協の皆様のお世話で学校のすぐ前の水内川に5月に放流した鮎を求めて、釣り人がお見えになっています。

地域の皆様にお世話になって5月9日に植えた早苗は、当初は、水の上に浮いているときえ思えるような弱々しさでしたが、今では、しっかりと根を張り力強く成長しています。この分なら、秋の収穫は間違いなし。きっと大豊作になるでしょう。

しかし、子どもたちが一生懸命植え付けた野菜は、今年も猿たちの標的になっているようです。ジャガイモの種芋は、三度の植え直しもむなしく、猿たちとの戦いに敗れてしまいました。先生方が、必死の思いで半日かけた防護網さえ賢い猿にかかれたいへんです。夏になれば、田んぼに、今年もイノシシがやってくるかもしれません。動物たちもきっと生きるために一生懸命なのでしょう。何とか共存共栄したいと思うこの頃、蛍の里は、幻灯機の世界を今夜も見せてくれそうです。

こんな中、児童は、11月28日の広島市体力向上推進校指定の体力づくり発表会と12月15日の算数科の公開研究会に向け一生懸命学び続けています。

どうぞ、引き続きご指導よろしくお願い致します。

平成24年7月4日 西口治男